

会報

No. 72



やまぐち

平成11年

1月発行



山口県土地家屋調査士会

目 次

【ごあいさつ】

新年のごあいさつ.....	山口地方法務局長	高 木 傑.....	1
新年のごあいさつ.....	会 長	乗 川 良 介.....	2
	副会長	瀬 口 潤 二.....	4
	副会長	三 好 一 敏.....	4
	副会長	小 嶋 慎 一 郎.....	5
	公囀協会理事長	水 津 久 太 郎.....	7

【報 告 書】

第4回理事会開催.....	広報部	松 田 邦 利.....	8
平成10年度山口県土地家屋調査士会自主支部長会議の報告			
	徳山支部長	西 本 聡 士.....	10
実務者研修会の報告.....	業務部長	米 原 茂 樹.....	12
山口法律関連士業ネットワーク 第1回一斉（共同）相談会開催される			
	山口支部	川 口 寛 司.....	14
平成10年度土地家屋調査士試験合格者			15

【事務局だより】

表紙説明

◎新南陽市高瀬峡（上）

◎三作神楽舞（国選択重要無形民俗文化財、山口県指定無形民俗文化財）

河内社の社伝によれば神楽舞は、大宝年間（701～703年）に疫病退散と五穀豊穰を願う神に感謝するため、7年ごと（卯年酉年）の式年祭に奉納するようになったのがはじまりとされ、古式を十分に伝えるこの舞は、県内の神楽の系譜を考えるうえでも貴重なものです。

新年のごあいさつ



山口地方法務局長 高木 傑

新年おめでとうございます。

会員の皆様には御家族とともども素晴らしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はいくつと長引く経済不況の中で、金融破綻やリストラ、毒物混入事件等何かと不安な事件の多い一年でした。

いろいろと厳しい状況の昨今ではありますが、確実に、社会は国際化・高度情報化に向けて大きく変わりつつあります。行財政改革や規制緩和も活発になり、行政・社会・経済等のシステムそのものが大きく見直しを求められている中で、私どもといたしましても、社会の変化に対応したシステムの構築に努力しなければならないと考えています。

法務局では、来るべき21世紀の高度情報化社会に適合した行政サービスを提供するために、登記事務のコンピュータ化を促進し、平成16年度末までには全庁完成を目指して全国展開しているところです。更に、今後の行政サービスの向上に向け、コンピュータ技術を活用したオンラインにより、自宅や事務所のパソコンから直接登記申請をしたり、最寄りの登記所を通じて、他の登記所の物件に関する登記事項証明書も入手することのできるシステムや、電子取引に必要な法人の資格等を認証する電子認証制度の導入に、取り組んでまいります。

山口局におきましては、本局・防府支局に次いで、本年は、下関支局・宇部支局における不動産登記事務のコンピュータ処理を開始する予定であり、その他カード式印鑑間接証明の導入についても、逐次作業を進めているところですが、何と云っても、法務局における今後の最大の課題は、地籍管理システムの整備を含め、表示登記の充実化であります。

今後とも法務局職員一同、社会の要請に応え、更には、先取りできるように、そして、皆様方から信頼される法務局でありたいと、年頭に当たり、改めて思いを強くしている次第です。会員の皆様におかれましても、変わぬ御支援・御協力をお願い申し上げます。

山口県土地家屋調査士会の益々の御発展と、会員の皆様方にとって明るい良い年でありますようお願いしまして、新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



山口県土地家屋調査士会

会長 乗川 良介

平成19年己卯年の年頭を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、大きく変わりゆくであろう制度改革の時を迎えようとしている昨今ではありますが、制度に対する深いご理解のもと、会の運営にご協力願っていることに対し衷心より感謝とお礼を申し上げる次第であります。

昨年、待望の山口県土地家屋調査士会館も竣工致し、6月30日に竣工式を終え、7月1日より、新会館において、社団法人山口県公共職労登記土地家屋調査士協会と共に、事務局の執務を開始致し、概ね落ち着いた状況にあるところであります。

制度制定50周年を目前に260余名の会員が一致団結の基で完成した、我々山口会の城の完成を皆様と共に喜びとするところであります。

さて、昨年は大不況の嵐が年末まで続き、皆様におかれましても、苦しい一年であったことと推察致します。

その間、私共を取り巻く環境も大きな変化を致そうとしています。

行政改革会議の中にあっては、登記、信託行政事務の独立行政法人化が再び取り沙汰されています。

規制緩和から来る、他資格者との業態問題、自民党行政改革推進本部では、規制緩和策の中での、総合的法律、経済関係事務所設置を基本の方針案として公表され、分科会を設置し精力的な検討に入ったとの事であります。我が国の経済社会は抜本的な構造改革を図り、国際的に開かれた自己責任を原則とし、市場原理に立つ自由で公正な経済社会へと変革し、行政の在り方も事前規制型から事後チェック型の行政に転換していくことを基本とした規制緩和策が推進されているところであります。

既に弁護士会では弁護士事務所の法人化法案を策定され、近々国会に法制定の為の提案をなされる様子でありますし、我が調査士会においても高度情報化社会に対応するため、また、国民のニーズに高度で迅速、的確に対応する為にも、法人化を含む、共同事務所の是認を強く要望されている昨今であります。

法第2条業務の他に「新たな裁判外境界紛争解決制度新設が、自民党、司法制度特別調査会、第2分科会で検討されています。当然我が調査士も境界問題の専門家として制度を理解し、紛争解決の主たる役割を果たすことの出来る士族となるよう、研鑽を重ねなければなりません。

いずれにしても、事務所形態の改革を図り、高度情報化社会に対応出来る組織を作り、更なる付加価値の高揚を計りながら、土地家屋調査士制度の充実の為、積極的な対応を望まれているところであります。

この重要な時に、私も連合会の総務部配属理事として、事務所経営形態検討特別委員会の関与理事として加藤東吾前連合会副会長を委員長とする優秀な先生方を委員とする委員会に出席し、ご意見を拝聴しているところであり、近々連合会会長宛最終答申がなされることとなっています。

新生土地家屋調査士の姿が一日も早く出現することを期待し、21世紀を迎えたいと思っています。

平成10年度も余すところ3ヶ月となりました。総会で承認をいただいた事業計画も着々と各部において消化がなされ、概ね順調に推移しているところであります。今年度は役員の改選期の年でもあり、有終の美をもって新年度を迎えたいと役員一同頑張っています。

年頭にあたり、会員皆様様の今後ますますのご健勝、ご活躍を祈念し、ごあいさつと致します。

平成11年1月1日

新年おめでとうございます。



総務・財務担当副会長 瀬口 潤 二

1990年代最後の年となりました。昨年は、景気が急降下し、気分的に暗い中、山口会にあっては、21世紀をにらみ余田会長の強力な指導力の元、新会館が建設できたことは、会員の皆様の方力を見た様に思っています。

来年は、2000年という区切りの年であり、「この区切りの年」を記念するイベントの準備が始まるものと考えられています。金融業界、産業界は、リストラを始め、再編成が既に終盤戦に向かって動いています。我々もまた、この流れの中、社会に必要な「土地収用調査士」像を確立していく年になりそうです。

21世紀の扉のどこから、入るのか、考える1年にしたいと思います。

会員皆様の、ご協力を心からお願いいたします。

新年おめでとうございます。



業務担当副会長 三好 一 敏

あけましておめでとうございます。

98年は我が山口会にあっては新会館落成という歴史的偉業が成され会員の城、マイホームが完成いたしました。マルチメディア時代に合わせ事務局にコンピューターの設置（従来はワープロのみ）がなされインターネットへの接続も可能となり新しい時代に向けた準備が整ったといえると思います。今年からはそれらの施設をいかに有効に効率よく使うか会員皆様方のアイデアをお願いすることとなります。

全く先が見通せない時代に入り込んでいますが、「こんな時こそ逆転の発想が必要なのですよ。」最近よく聞くことばですが、少し回転が鈍くなってきた我がおつむを逆さにしてみ、会への貢献を考え、残る任期悔いなきものとしたいと思っております。

新年のごあいさつ



広報担当副会長 小 嶋 慎一郎

新年おめでとうございます。

底が見えたとか見えなとか、寂しい気分のなかで、一日も早い景気の回復が待たれるところであります。

このような時期に我々調査士のシンボルである会館が山口駅構内に完成し雄姿を見せてくれていることは、会員の皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝し力強く誇りに思うところであります。

さて、昨年11月22日より2日間、東京において開催された連合会主催の境界鑑定講席に出席の機会をあたえていただきました。

会場は、「セミナープラザ上中野」という会議専用の宿泊施設で全国から、200名余の会員の出席により、連合会役員の間会挨拶に続き開始されました。講師は！日目が浦野雄幸慶東海大学教授でした。

私個人としては、調査士資格試験の受験勉強の参考書に先生の「不動産登記読本」を購入してから、また、先生は長い間法務省民事局に勤務されていた事から、調査士制度発足当時より我々業界の指導的立場におられたことは承知していたので、会長にお願いして三好副会長と共に出席させていただきました。

講義は、歯切れの良いテンポで始まりボアソナードにBOISSNADE（日本に民法をもたらしてくれたフランスの法学者、但し、フランスではあまり大層に扱われていない？）と黒板に横文字や、境界鑑定に関する数々の重要な判例と調査士のあるべき姿等を織り交ぜた中身の濃い講演でありました。

本来なら、いわば、境界鑑定の法理というようなものを習得しご披露すべきですが、私には、その前に調査士の何たるかを自覚すべきであることを改めて教えていただいたのでこれをご披露させていただくことで新年のご挨拶とします。

以下それを羅列すると、

- ・調査士は法2条のうち「調査業務」を空けている。（測量ができればよいというのではない）
- ・調査士は後世に何が残せるか、何を残すか

- ・片側は、司法書士、もう一方は測量士により領域を狭められる事ができる中間的な資格
- ・国民が何を求めているか、つかみきっているか。
- ・調査士は仕事の割に儲かっているから地位が向上していない。
- ・調査士（連合会）は今まで何をやってきたのか。

…等々かなり厳しい叱責をいただいた一方で

- ・測量をし、図面を作る法律実務家として社会に応えることが調査士の生き残る道である
- ・国土をどうやって保全するか。いかに権利の対象を明確化するか
- ・公園を読めるものは調査士しかいない
- ・調査士は行政と司法の狭間にある調整役である。

…等々判例を中心にした講義の中で調査士の職責の重大さを思い知らされました。

翌日は、加藤東吾元連合会副会長による、実務者故にわかる仔細な講義を受けました。現在自民党の司法制度特別調査会で取り上げられている裁判外境界紛争解決制度の成立に向かって連合会が組織をあげて取り組んでいる中、我々調査士個人として自覚すべきことが山積みである事を認識させられた2日間でありましたが、このような時期にこそ体力増強のチャンスと捉え、これらの事を日常業務の中でいかに多くの会員に取り組んでいただけるか、これを課題に残りわずかとなりました任期をまっとうさせていただく所存です。今年も宜しくお願い致します。



新年のごあいさつ



社団法人山口県公共職託登記土地家屋調査士協会
理事長 水津 久太郎

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかな新年を過ごされ、心よりお慶び申し上げます。また、平素より公職協会の運営につきまして、高いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く謝礼申し上げます。

今、21世紀を目前にして世界は大きく変わろうとしております。その変化の波は経済・社会・金融等各分野において一段と加速度を増しながら押し寄せてきているように思われます。

土地家屋調査士をとりまく近年の情勢は、制度の上からも、また経済的な面においても早急に議論すべきものが山積しておりますが、高度成長期においては、ややもすれば置き忘れていた国民と一体となった調査士、法務行政を通じて威厳のある調査士を目指しなお一層の発展をしたいものです。その点におきまして昨年完成した調査士会館を、調査士制度啓蒙の中心施設として大いに活動されるものと期待しています。

21世紀に向けて新しい調査士像が見えてきますように、また、会員の皆様がご健勝で活躍されますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



第4回理事会開催

広報部 松田邦利

第4回理事会が平成10年12月22・23日の両日山口市湯田温泉「ホールサムインやまぐち」に於いて開催された。

22日午前中に四部会毎の会議がもたれ午後1:00より理事会に入った。

乗川会長より挨拶の後①規制緩和②境界紛争解決制度の問題③事務所経営形態等々についての連合会報告がなされ、当事務局員の移動についての説明があり、12月末日をもって退職される山本事務局長の後任である疋田さんと、新しく10月より職務につかれた伊藤さんの紹介があった。

ひき続き各部会より議題にそって報告があった。

(1) 各部の今後の事業執行及び来年度の事業計画について

総務部

- ・新入会員研修会について
- ・調査士会規則の一部変更について

財務部

- ・平成10年度証紙貼付状況結果報告

業務部

- ・法務局、県用地課との三者協議会について
- ・新人研修について

広報部

- ・1月発行の新年号について
- ・広報看板の新設について
- ・ネットワーク事業の報告
- ・枕の日の企画計画について

(2) 平成11年度 各種会議の日程について

総務部より次年度の各種会議日程調整等の報告があった。

(3) 会議進行の在り方及び予算請求について

各部会毎に協議の上、事業計画に沿って予算請求をする旨の説明があった。

(4) 会員証・補助者証の携帯について

会員証及び補助者証携帯しやすいものへ変更する事を現在検討中である。

(5) 国民年金基金についてのアンケート

財務部長より現在の加入状況について報告があり、今後も積極的に加入を勧めて行く事の説明があった。

(6) その他

- ・ 参川会長前総表彰受賞へのお祝会について
- ・ 山本事務局長への退職会について

数々の議題について熱心に討論が行われ午後4:00過ぎ閉会した。

夜は、細かながら退職される山本事務局長の送別の宴がもれた。6年8ヶ月の長きにわたり大変ありがとうございました。

翌日朝食後第4回理事会の行事を全て無事終了し、帰路についた。



理事会風景



平成10年度山口県土地家屋調査士会自主支部長会議の報告

徳山支部長（支部長会議長） 西本 聡 士

本年度の自主支部長会議は岩国支部のお世話で、10月17日、18日まるで500年前の毛利元就と陶晴賢が争った厳島合戦を彷彿させる台風接近の大雨の中、安芸の宮島で開催されました。

昼食は広島名物あなご弁当。会場の「岩隠」はもみじ谷の入り口にある超有名旅館、浦井岩国支部長の気配りに感謝しながらの会議になりました。

議題はまず各支部の運営状況報告からはじまり、支部間格差の統

一、つまり支部規則の統一について論議されました。確かに各支部バラバラな面も一部ありその善し悪しも考慮する必要がありそうです。この議論は夜の部に再開され深夜遅くまで続きました。



各支部よりの議題提出については岩国支部より会員、補助者の名札着用に対する意見が出されIDカードの使用を検討することになりました。また、既に設置されていますがパソコン購入の要請もありました。

本会からの議題は、「本部役員の推薦または選考の基準」について総務部長名で提案と協力要請があり審議の上各支部了承しました。この件についてはまた理事会との合同会議等で確認される予定です。

会議終了のあと懇親会を兼ねた夕食会を開催し1日目は深夜まで活発な情報交換が行われ終了しました。

2日目は台風一過の晴天。観光組とゴルフ組に分かれ観光組は安芸の宮高を満喫し、ゴルフ組は浦井支部長のホームコース和木CCで廻経コンペを行い、2日間に渡る平成10年度の自主支部長会議を閉幕いたしました。



実務者研修会の報告

業務部長 米原茂樹

11月6日(金)・7日(土)の2日間防府市のサイテリングターミナルに於て支部企画委員と本部業務部との協議会を開催しました。当日は危惧していた天気にも恵まれ一先ず安堵。

内容は、3級基準点の技術研修で、三・四等三角点を利用して行うもので、三等三角点の天神山(標高166m)を基準に四等三角点の2点(約1200m)を結合させるものです。四等三角点は、佐渡川の土堤にあり、お互いの見通しのとれる位置関係にあり、研修会場も



近くに設定したものです。7支部を4班に編成しての作業であったが、時間の制約等により作業が終了できなかったチームもあり大変迷惑をかけました。

翌日はメーカーの(JRC)ご協力によって、GPSの観測を前日と同様に現場に於て行い、即、成果の出る最

新のリアルタイムキネマティック・オンゼブライ測量なるものを体験した。

また、当地の防府支部さんの自主参加により、大田支部長さんを初め9名の会員の方の参加をいただき、また、いろいろと世話になりありがとうございました。業務部として多々反省点もあり、今後の課題とさせていただきます



主。

2014年4月新築工事現場視察 2014年5月10日 行方 第一 第三番



麗 修 風 景

新築地内、2014年4月新築工事現場視察、2014年5月10日 行方 第一 第三番



山口法律関連士業ネットワーク 第1回一斉（共同）相談会開催される

山口支部 川口寛司

去る平成10年11月11日(水)士業の日に、山口法律関連士業ネットワーク第1回一斉（共同）相談会が、山口県土地家屋調査士会会館となりの「ばるるプラザ山口」3階ホールで開催されました。

午前10時から午後4時までの相談時間に、近隣住民の多数の相談がありました。

相談の内容により、行政書士会・公認会計士協会・司法書士会・社会保険労務士会・

山口法律関連士業ネットワーク「第1回一斉共同相談会」開催結果

(平成10年11月11日 於：「ば・る・るプラザ山口」3階 会議室)

総相談件数 50件

団体名	相談員 (延人数)	来所相談者数(延人数)			無料相談を知ったのは？						主な相談内容
		男	女	計	チラシ	館内	センター 直 口	テレビ ラジオ	各士業 直 口	その他	
山口県行政書士会	3人	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	公共事業のための土地買収に係る 監査請求
日本公認会計士協会 中国会山口県支部	2人	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
山口県司法書士会	6人	3 1	5 1	8 2	1 0	1 0	1 0	2 0	0 1	3 1	サラ金・自己破産、相続に伴う 登記手続、遺言書の検認手続、 滞納家具
山口県社会保険 労 務 士 会	3人	0 0	2 1	2 1	0 0	0 0	0 0	0 1	1 0	1 0	国民保険料免除の手続、離婚に 伴う被扶養者関係
中国税理士会 山口県支部連合会	5人	0 1	4 0	4 1	1 0	0 0	0 0	2 1	1 0	0 0	相続に伴う税金、延滞税の計算、 土地売却に伴う税金、贈与、税 務署提出書類の記載要領
山 口 県 土地家屋調査士会	4人	5 2	0 2	5 4	1 0	0 0	0 1	2 1	2 1	0 1	境界確定(宅地・共同墓地等) 地番のない土地利用
山 口 県 不動産鑑定士協会	6人	2 1	0 0	2 1	0 0	0 0	1 0	1 0	0 1	0 0	競売物件の価格、固定資産税の 評価、土地の買収
山口県弁護士会	9人	9 9	5 10	14 19	1 2	1 1	0 1	6 5	3 7	3 3	相続・遺贈、離婚・慰謝料、サラ金・自己破 産、交通自己、境界確定、スノーカー行為、 借公家、夫の暴力、調停不調後の手続地
計	38人	20 14	16 14	36 28	4 2	2 1	2 2	14 8	7 10	7 5	

※ 上段は、午前(10時～13時)の相談者数、下段は、午後(13時～16時)の相談者数

税理士会・土地家屋調査士会・不動産鑑定士協会・弁護士会の各士会会員が担当したもので、相談内容によっては、複数士会の会員が共同で相談に応じました。

土地家屋調査士会は、山口支部が担当することとなり、午前の部（10時～13時）に2名、午後の部（13時～16時）に2名が相談に当たりました。

午前の部に、5件の相談を担当し、うち2件は弁護士会との共同相談でした。

午後の部は、3件の相談があり、うち2件は午前と同様に弁護士との共同相談となりました。いずれの相談も隣地との境界についてのものであり、「境界紛争防止には、コンクリート杭など永久標識の設置が有効である。」ことなどを回答しました。共同相談においても、各専門家のアドバイスに相談者は、概ね得心が行った様子でした。

総相談件数50件の一斉（共同）相談会となり、受付を担当された当番会の弁護士会事務職員の方は、特別にいそがしい1日だったようです。

平成10年度土地家屋調査士試験合格者

氏 名	生 年 月 日	住 所
原 田 英 樹	昭和45年3月26日	宇部市大字稔小野1285
山 本 静	昭和25年9月28日	福岡市中央区天神五丁目3-801
古 屋 淳	昭和46年11月18日	下関市一の宮町五丁目12-17
上 野 浩 司	昭和34年8月14日	宇部市松山町一丁目3-20-705
大 田 浩 治	昭和38年4月9日	下関市大字吉田1019-10
竹 下 治	昭和31年11月23日	下関市竹崎町一丁目10-16
堀 努	昭和40年3月13日	萩市大字椿東5296-4

事務局だより

会員異動状況

1. 会員入脱会状況

支部	氏名	入脱会年月日
山口	石村 慶吾	H10.12.31廃業
宇部	眞田 久之	H11.1.31廃業
岩国	菅野 満男	H11.1.22死亡



訃報

岩国支部・菅野 満男 会員
 大正4年2月4日生(享年83才)
 昭和32年2月17日入会
 平成11年1月22日逝去

遺族へ哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2. 事務所住所変更

支部	氏名	年月日	変更事項	〒Eシ
山口	渡邊 一正 (変更前)	H10.10.24	山口市大字宮野下2900番地10(本報)	
		*	〒753-0001 山口市大字宮野上160番地の1(住所)	(0839) 23-5262
		H10.11.9	渡邊一正(氏名) (変更後)	

会 務 報 告

11月6日(金)	支部企画委員と本部業務部との協議会 (3歳基準点未満の実務者技術研修)	防 府 市
7日(土)		
6日(金)	全国会長会議	熊 倉 市
7日(土)		
11日(水)	一斉共同相談会(法律関連企業ネットワーク)	ぼるるプラザ山口
11日(水)	上半期監査会・第一回役員報酬委員会	調 査 士 会 館
22日(日)	境界測定講座	東 一 倉 郡
23日(月)		
26日(木)	西日本会長会議	京 都 市
27日(金)		
12月2日(水)	中国ブロック業務担当者会議	岡 山 市
11日(金)	法司調三者協議会	山口地方法務局
14日(月)	広 報 部 会	調 査 士 会 館
22日(火)	理 事 会	山 口 市



発行 山口県土地家屋調査士会
山口市悠友大和2番2号 〒753-0042

電話 (0839) 22-5975

FAX (0839) 25-8553

郵 替 01500-5-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会

会 長 桑川 良介

副会長 小嶋慎一郎

広報部長 高杉千河生

部 長 松田 邦利

・ 坂本 敬子

・ 上村 栄

印刷所 西宮コーポレーション

山口市中央5丁目15番11号

電話 (0839) 24-3130

あなたの土地はあなたが守る！

境界のことなら調査士へ



私達におまかせください。

山口県土地家屋調査士会 TEL0839-22-5975
 山口県公共嘱託登記士(株) 屋調査士協会 TEL0839-23-5115